

平成25年度 事業計画

1 振興奨励事業

(1) 産業教育功労者の表彰

本会の目的に照らして、産業教育に関する顕著な功労のあるものを表彰する。

- ・中学校技術・家庭科教育功労者
- ・専修学校・短期大学教育功労者
- ・御下賜金記念産業教育功労者(高等学校・高等専門学校)

(2) 産業教育研究団体に対する奨励助成

高等学校の農業、工業、家庭、定時制・通信制、中学校の技術・家庭科の各研究会に対し、研究資料作成など事業活動費の一部を助成する。

(3) 都産振作文コンクールの実施

中学生、高校生、高専生、専修学校生・短大生に対する作文募集を行い、応募作品の中から最優秀賞、優秀賞、佳作を選定し、入選者に賞状と賞品を授与する。

(4) 優良卒業生の表彰

本会の会員校に在学している生徒(学生)のうち、各学校から推薦のあった優良卒業生に対して、本会会長及び(財)産業教育振興中央会会長から、表彰状を授与する。

(5) 後援名義の使用承認

産業教育の普及向上に寄与する事業を実施する団体等に対して、本会の後援名義の使用を承認する。

(6) 産業界会員(永年会員)の表彰

永年にわたり産業教育の振興に尽力し、かつ本会の発展に貢献してきた企業に対して、感謝状等を授与する。

2 産学交流事業

産学連携の観点から、教育現場が抱える課題等について、産業界と学校・行政が互いの情報や意見を交換することなどを目的に、産学懇談会を11月頃に開催する。

3 情報連絡事業

(1) 会報「東京の産業と教育」の発行

第144号を7月中旬、第145号を11月下旬に発行し、会員及び関係機関等に配布する。

(2) 会誌「東京の産業教育」の発行

第51号を2月下旬に発行し、会員及び関係機関等に配布する。

(3) 作文コンクール入選作品集「明日に生きる」の発行

第24号を2月下旬に発行し、会員及び関係機関等に配布する。

(4) 本会のホームページの更新

(5) 全国産業教育フェア(愛知大会)及び全国産業教育振興連絡会議等への参加

(6) (公益財団法人)産業教育振興中央会及び各道府県産業教育振興会との情報交換・連絡調整

4 会員増加運動の推進

会員となっていない区市町村教育委員会等に対して、引き続き本会への入会・協力を依頼する。また、役員や会員企業等から、関連企業等に対して、本会への入会・協力の勧誘をしていただくようお願いする。